

第9回 志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会の総括

1. 審議の内容

平成27年10月5日に開催した第9回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会において、以下の内容について審議を行った。

○対象事業

尾原ダム

○審議内容

- 1) 第8回委員会での指摘と対応
- 2) 尾原ダム
 - ・平成26年度調査結果の報告
 - ・モニタリング最終報告書案の報告（総合評価、フォローアップ調査計画）
- 3) アオコの発生状況の報告（志津見ダム、尾原ダム）
 - ・平成27年度のアオコの発生状況の報告

2. 審議の結果

事業者から尾原ダムにおける平成26年度の調査結果及び、尾原ダムにおける総合評価、フォローアップ調査計画等について説明を受け、審議を行った。

○審議結果

審議結果は以下のとおりである。

1) 第8回委員会での指摘と対応

第8回委員会での指摘への対応については了承する。

2) 尾原ダム

(1)平成26年度調査結果の報告

- ・事業者報告の平成26年度の調査結果については了承する。
- ・中層の調査水深は観測日における水深の中間としていることから、中層の観測位置は水位によって変動する。水温躍層付近の状況を的確に把握するためにも、ダムサイトではEL. +180m付近でも固定して調査してみてもどうか。
- ・ダムサイトは底層が貧酸素状況にあり、窒素もアンモニア態が増加傾向にある。状況監視に努められたい。
- ・アオコについても状況監視に留意すること。特に、リンの影響があると考えられるため、NP比等の指標も含めた確認を行うこと。

(2) モニタリング最終報告書案の報告（総合評価、フォローアップ調査計画）

① 総合評価

- ・ ツマグロキチョウは尾原ダム周辺で確認されたことにより島根県レッドデータブックで絶滅危惧一類から絶滅危惧二類に重要度ランクを下けているが、今後も確認、保全に努めて頂きたい。
- ・ ダムの上流端における底生動物は、底質が礫から石に変化していることによって、影響を受ける可能性がある。フォローアップ調査時には留意すること。
- ・ 調査項目全般に亘って影響が少ないという確認はされたものの、貧酸素化等の課題もあることから今後も留意して頂きたい。

② フォローアップ調査計画

- ・ カビ臭関係の調査は、表層の調査になっているが、カビ臭（ジェオスミン・2-MIB）が確認された場合は底質についても実施してはどうか。
- ・ オオサンショウウオの移植が成功しているという調査データは非常に貴重なものなので、是非公表して頂きたいと考えている。前向きに検討頂きたい。
- ・ 魚類調査は水国の調査では5年に一度の頻度になってしまうため、状況の変化が見られた場合は適宜実施を検討願いたい。

3) モニタリング委員会意見書

- ・ モニタリング委員会の意見書を中国地方整備局に提出した。

(以上)